

# 福祉バス更新事業

## 第3次実施計画要求事業(保健福祉課)

### ●事業の概要

現在の福祉バスは平成3年購入の車両で、約20年が経過している。運行距離は平成22年3月末で383,500kmである。車両老朽化により、走行に支障をきたす故障や車体の腐食もあるので、安心・安全に福祉バスを運行するために更新する。

### ●事業費 40,000千円(予定)

財源内訳 過疎債 35,000千円 一般財源 5,000千円

### ●現在の車両

乗車定員42名(内、乗務員2名)

ハイデッカショート・8列

車椅子乗降用リフト装備なし



### ●購入予定車両

現在の車両と同仕様車両を予定

### ●車椅子乗降用リフト装備について

- ・端野自治区が平成21年度に更新した福祉バス(51人乗り)は、リフト装備あり。
- ・現在、リフト付バスは、端野のみのため、他自治区で使用希望があれば、端野の車両を使用することとなっている。平成22年度は、使用申込は北見の4件のみ。
- ・身障の車椅子使用者は、大会等への参加は自家用車の相乗りが多い実態があり、利用が少ないと思われる。
- ・留辺蘂自治区は数年先にリフト付き車両に更新予定。
- ・リフト付き車両は、リフト装備なし車両と比較すると、乗車定員が2名少なくなるが、車両価格は約100万円高くなる。

### ●常呂自治区の福祉バス更新車両は

下記の理由により、リフト装備なし車両を予定する。

- ① 自治区でのリフト付バス使用希望は、希少である。
- ② 使用希望があれば、端野の車両により対応可能である。
- ③ 乗車定員数、購入価格の面からも、合理的である。



ハイスタンダード ターコイズ「P1」(オプション)

注:写真はサンプルで、実際の購入車両とは異なります。